

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

87

令和2年8月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



参加者からの質問に、真摯に答える池井 氏

ふれあい・いきいきサロンは、市内55カ所にあり、それぞれが〈気軽に・無理なく・笑顔で〉をモットーに、活動しています。各種出前講座も実施しており、今年度から認知症ケア専門士によるボランティアグループ『わたがし』の皆さんにもご協力いただいています。

6月16日(火)、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、日土地区いづしサロンの参加者12名を対象に、『わたがし』の池井恭久氏より『認知症の理解』と題して講話いただきました。認知症の原因になる病気、関わり方など身近な題材を聞いた参加者からは、「認知症は遺伝する?」「運転免許証の返納はいつ?」など多くの質問がありました。認知症は病気ではなく症状であり、散歩したり、地域の人と挨拶したり、おしゃべりして笑いあったり、普段から顔見知りになり相談できる関係を作っておいたりすることが、予防につながることを学びました。

最後に池井氏より、「認知症の症状を理解して笑顔で寄り添える関係を作ること、その人らしい生活が続けることができる」と語りかけられ、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

コロナに負けない！ サロン活動・地域福祉活動で気を付けたいこと

新型コロナウイルス感染予防を踏まえたサロン活動について、地域包括支援センターと八幡浜市社会福祉協議会（以下、八幡浜市社協）で共有をしました。

今までは、地域の方の生きがいがづくり、仲間との交流の場として、活動場所で顔を合わせ、集い、楽しくいきいきとしたパワーの源になっていました。コロナ禍による自粛で、集うことに制限ができました。対面しなくても、「誰かの役に立つ」「みんなで助け合う・支え合う」「つながりを絶やさない」ために、電話やメール、SNS（LINE など）を利用するなど、工夫しながら活動していきましょう。

お家でできること

- 体調チェックをする
 - 体温は平熱か
 - 発熱や咳、のどの痛みなど風邪症状がないか
 - だるさ、息苦しさがないか
 - においや味がいつもと同じか
- 体操、口腔体操をしましょう（飛沫リスクが高いため、個々で取り組みましょう）
- 3食バランスよく食べて、睡眠をとりましょう
- 口腔ケアも欠かさずしましょう
- 散歩や電話でおしゃべりをしましょう
- こまめに手洗い、うがいをしましょう

いろいろな形でつながり続け、気かけあえば、それはサロン活動・地域活動です。

コロナ禍でも、感染予防は行いながら、「気楽に・無理なく・笑顔で」ご活動ください。



暑い時期にマスクをつけ続けると、熱中症になるおそれがあります。無理はせず、適宜外すようにしましょう。

サロンでできること

できる予防に努めましょう

- こまめに換気をしましょう
- こまめに水分補給をしましょう
- 食事はなるべく対面を避けましょう
- 感染予防をしましょう

マスクをつけましょう



手指消毒をしましょう



これも、サロン活動です。

- 少数メンバーでお散歩（一人や限られた人数での散歩は、感染リスクが低い行動です）
- メンバーでお花を育て、観賞しながら散歩する
- 共同で野菜を育てる
- メンバーの家に訪問する（お世話人さん+少数のメンバー）
- 電話でおしゃべり（近況報告・見守り）
- 公園、ベンチなど、公民館や集会所以外で集まるのもOK
- 時間を合わせて体操や散歩をする（八西CATV「はつらつ介護予防体操」）
- 手芸（例：布マスク作り）など、自分にできることをする

コロナ禍の地区社協活動

給食サービスの形を変えて、見守り訪問「元気になった？」



ヤクルトとお便りを、笑顔でお届け

令和2年5月23日(土)、江戸岡地区社会福祉協議会(以下、江戸岡地区社協)では、給食サービスふれあい型事業を実施しました。

通常は、美味しいお弁当を手作りし、民生委員・児童委員の皆さんが見守りもかねて対象世帯へお届けしています。しかし新型コロナウイルスの感染が懸念される中、手作りすることが難しくなりました。5月に実施を予定していたため、どうするか、何ができるかを検討しました。結果、お弁当をヤクルトに替え、通常通り訪問を行うこ

とになりました。

当日は晴天の下、ヤクルトにお便りを添えて、各民生委員・児童委員が対象世帯に伺いました。写真(右)は、矢野町などを担当されている原口文字民生委員。感染予防のためお互いマスクを着用しながらも、久しぶりに顔を合わせ、短い時間ですが笑顔で近況をお話しました。

江戸岡地区社協会長 都築真一さん「楽しみに待ってくださっている方たちに向けて、何かできないかと、民生委員さんと一緒に考えた。工夫しながら、続けていきたい」

新型コロナウイルス感染予防のため、これまでと同じ形では活動しづらい面も出てきています。一方で、外出することや人とつながる機会が減ったことにより、高齢者の心と体に影響が出てくる心配もあります。各地区社協では、事業を実施できるかどうか、どんな工夫が考えられるかなど、都度協議しながら検討しています。

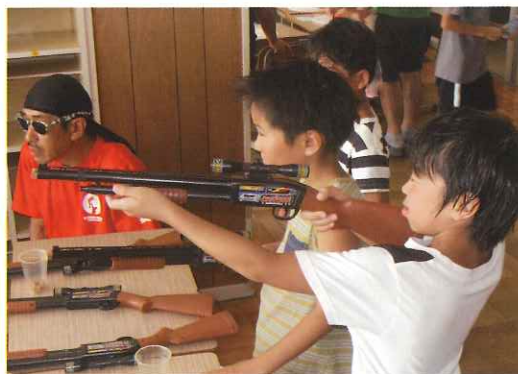
赤い羽根共同募金第1回配分委員会開催

5つの事業へ助成が決定しました

令和2年6月25日(木)、令和2年度第1回配分委員会を開催しました。

今回は、5団体5事業の申請があり、全て承認されました。

団体名	事業名
わたがし(認知症ケア専門士の会)	認知症カフェ先進地視察研修事業
精神保健ボランティアグループはまかぜ	フラワーアレンジメント講習・交流会
ともしび会	ジャンボかるた取り大会 ボランティア活動協力事業
総合型地域スポーツクラブ 楽スポGOやわたはまスポーツクラブ	軽スポーツ交流のための備品購入事業
神山おやじ隊	神山おやじ隊 活動備品購入事業



令和元年度
神山おやじ隊デイキャンプの様子



配分委員会の様子

健康クラブ 元気な心と体とつながりを

【開催場所】

八幡浜市保健福祉総合センター
1階機能回復訓練室

【申込先】

八幡浜市地域包括支援センター
(☎24・3918)

八幡浜市社協では、八幡浜市より受託し『健康クラブ（通所型サービスA事業）』を実施しています。要支援者及び事業対象者に対して、心身の機能回復を図り、地域における自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、運動・レクリエーション・行事を通じて、必要な日常生活上の支援、生活機能訓練、仲間づくり、生きがいづくりの支援を行います。

【利用できる方】

- ・ 八幡浜市内に住所がある方
- ・ 介護保険制度の要支援1または2の認定を受けている方
- ・ 事業対象者の方
- ・ 地域包括支援センターによるケアマネジメントを利用する方

【利用回数】

ご本人の状況にあわせて、利用回数が決まります。（10時～15時）

【利用料金】

- ・ 1回につき300円（送迎利用の場合）※所得に応じて金額が変わります。

・ 昼食代

15:00	14:40～	13:00～	12:00～	10:00～	
送迎	おやつ	シャッフルゴルフ 体をつかったゲーム 手芸	昼食・休憩・交流	健康チェック 発声 軽体操 脳トレーニング えん下体操	送迎



早口ことば「なまむぎ なまごめ なまたまご」



足元に気を付けながら



お寿司は大好きです



手首の体操 グルグル



おもいやり食糧を 無償で提供します

八幡浜市社協
イメージキャラクター
ペリカンくん



主にお米
そうめんなど。
他には缶詰
レトルト食品など。



地域の福祉活動を行う方、各団体の
方々、食べることに困っている方へ、
まずはご連絡ください。



フードドライブにご協力ください!!

八幡浜市社協では、**フードドライブ**を行なっています。
この取り組みは地域の皆さまから、ご家庭で眠っている食品の
寄付をいただき、お困りのご家庭へお届けする活動です。

八幡浜市社協にお持ちいただくか、お受け取りにも伺います。
まずはお電話、または下記のメールアドレスまでお問い合わせください。

八幡浜市社協 地域福祉課

☎ (0894) 23-2940

✉ info@yawatahamashi-syakyo.jp

月～金曜日(祝・祭日を除く) 8:30～17:30

令和元年度 八幡浜市社会福祉協議会 事業報告

令和2年2月頃より、国、県から新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する指針が通知され、それに基づき対応しています。3密を回避できない事業の中止や延期、施設における面会制限、その他衛生管理の徹底等感染症予防に対応するとともに、緊急事態宣言時においても事業の継続が求められる事業者として、支援が必要な方々の保護の継続のため、法人一丸となって取り組んでいます。

事業の実施状況

A 法人経営の基盤整備の推進

- 理事会等各種会議の開催
- 八幡浜市社会福祉大会の開催
- 地区社会福祉協議会会長の開催
- 地区社会福祉協議会の組織の充実と活動支援
- 社会福祉協議会の情報活動の促進
- 自主財源の確保と適正な運営
- 職員の研修・資質の向上

B 地域福祉活動の推進

- 地域福祉活動の推進・強化
 - ▼ ふれあい・いきいきサロン事業
 - ▼ ふれあい子育てサロン事業
 - ▼ 独居高齢者等見守りネットワーク事業
- 高齢者福祉の推進
- 農福連携事業の実施
- ▼ NPO法人みかんプラスとの連携
- 八幡浜市ボランティア協議会の活動促進・支援
- ボランティア養成講座の開催
- ▼ 手話奉仕員
- ▼ 朗読(音声訳)ボランティア(初級課程)
- ▼ 点訳・朗読のことで見て・知って・体験する学びのバスツアー
- 精神保健はまかせスクール
- 第32回福祉のつどいの開催
- ボランティアグループ等の育成援助(共同募金配分金)
- ▼ 5団体6事業に配分

- ボランティア活動保険等の加入
- ヤングボランティアの育成・啓発
- ▼ 福祉教育の推進
- 共同募金運動の推進協力
- ▼ 赤い羽根共同募金チャリティパーティーの開催
- 児童・母子・寡婦・父子福祉推進活動
- ▼ 手話通訳者等派遣事業の実施
- 心身障害者(児)福祉事業推進
- ▼ 障害者社会参加促進事業の実施
- 生活支援体制整備事業の推進
- ▼ 地域支え合い協議体の設置・運営
- ◇ 第一層協議体の設置と運営の検討
- ◇ 第二層協議体の設置と運営の検討(千丈、喜須来、大島、白浜)
- ▼ 地域資源の把握、支援ニーズの把握、ネットワークの構築
- 八幡浜市地域支え合いセンター事業の実施
- ▼ センター長・コーディネーター・生活支援相談員・訪問支援員設置
- ▼ 被災者への訪問・相談
- ▼ 関係機関との連携
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- ▼ 通所型サービスA事業(健康クラブ)

C 権利擁護の推進

- 八幡浜市権利擁護センター事業の実施
- 研修会・会議等の開催
- ▼ 終活に関する出前講座の開催
- ▼ 成年後見制度勉強会
- 法人後見事業の実施
- ▼ 法人後見事業検討委員会
- ▼ 法人後見受任11件
- 福祉サービス利用援助事業の実施(契約17件)
- 生活支援・相談活動の充実
- ▼ 災害見舞金給付事業の実施
- ▼ 生活福祉資金貸付事業
- ▼ 小口資金貸付事業
- ▼ 心配ごと相談所事業
- 八幡浜市生活困窮者自立支援事業の実施
- ▼ 主任相談支援員・相談支援員・就労支援員設置
- ▼ 支援調整会議の開催
- ▼ 研修会・勉強会等の開催
- ▼ ネットワーク構築に向けた取り組み
- ◇ 食糧支援等に関する連携
- ◇ 制服バンクの立ち上げ
- ◇ 家計管理改善支援事業の研究・視察



あけぼの荘 ひなたぼっこ

- 指定居宅介護支援事業所
- 社協ヘルパーステーション八幡浜
- 社協ヘルパーステーション保内
- 保内町デイサービスセンター
- 介護保険事業の推進
- ▼ 居宅介護支援事業
- ▼ 訪問介護事業
- ▼ 通所介護事業
- ▼ 短期入所生活介護事業
- 障害福祉サービス事業
- ▼ 居宅介護事業
- ▼ 同行援護事業
- 介護保険外・障害福祉事業の推進
- 福祉用具貸出事業

D 在宅福祉サービスの推進



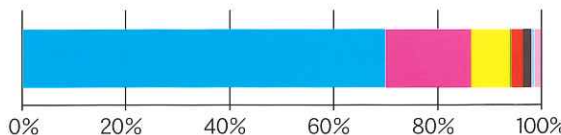
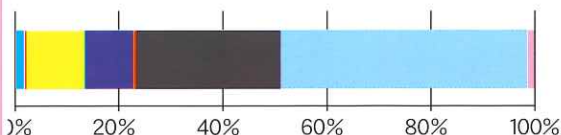
湯島の里 施設内の桜をお花見

- 養護老人ホームの管理・経営
- 「あけぼの荘」「湯島の里」
- 人権の尊重・自発性の向上・自立性向上
- 感染予防や身体拘束に関する委員会の設置
- 職員研修
- あけぼの荘・止水板の設置
- 湯島の里・災害対策用備品の整備
- 各種防災訓練の実施

E 施設サービスの推進

収入

支出



会費	6,407,868円
寄付金	1,284,640円
経常経費補助金	49,941,088円
受託金	39,884,545円
貸付事業	411,000円
事業	2,516,780円
介護保険事業	120,463,942円
老人福祉事業	206,877,705円
障害福祉サービス等事業	5,629,570円
受取利息配当金	19,947円
積立資産取崩	44,395円
その他の収入	685,849円

人件費	323,489,320円
事業費	76,484,008円
事務費	35,576,461円
利用者負担軽減額	163,195円
貸付事業	496,190円
共同募金配分金	10,641,460円
助成金	6,506,198円
固定資産取得	2,907,370円
積立資金	6,586,090円
その他	8,396円

収入合計 434,167,329円

支出合計 462,858,688円

令和元年度
八幡浜市社会福祉協議会
決算報告

手話奉仕員フォローアップ講座

手話奉仕員養成講座の修了者が手話のスキルアップや手話通訳者を目指すために、必要な要点を押さえる講座として、フォローアップ講座を開講します。

- 日時** 令和2年8月12日(水)～9月30日(水) 全8回
19時00分～20時30分
- 場所** 八幡浜市保健福祉総合センター2階
シルバーボランティアルーム
(住所:八幡浜市松柏乙1101番地)
- 主催** 八幡浜市社協
- 参加対象** ●市内に在住・在勤の方で、ボランティアに興味のある方
●「手話奉仕員養成講座 入門編・基礎編」を修了した方
- 定員** 20名程度
- 受講料** 無料
- 講師** 愛媛県聴覚言語専門指導員 岡野 由季枝 氏
八幡浜市聴覚障害者協会 伊藤 佳子 氏



回	日付	7つのポイント
1	8月12日	表情
2	19日	主語の明確化
3	26日	代名詞化
4	9月2日	空間活用
5	9日	写像的表現
6	16日	豊かな語彙とその選択
7	23日	同時的表現
8	30日	まとめ

お問合せ・申し込み先
八幡浜市社協 ☎23-2940



買い手「こんどは何を買おうかしら？」
【即売コーナーにて】

「このせんざい、おいちいな」
「こんどは おかあさんにも食べさせて」
「お給仕のお姉さん おかわり！」
【バザールコーナーにて】

福祉のためなら エーンヤコラ!!/この日ついたおもちは全部で6俵…。(あなた おもちゃいつたべましたか?)
【もちつきコーナーにて】



「ここが新しい機械、おしらにも使えるがやうか?」
「だいじょうぶですよ、操作は簡単ですからや」
(ワム、ワム、なるほど)
【福祉機器展示コーナーにて】

さすが高校生! 作品も一品一品?
【パネル・ポスター展示 コーナーにて】



「あんたも来たったが?」
「初めてじゃいっても、かいいなんじやの」

「うちの生徒も、なかなかやるわい……」
【ボランティア実技コーナーにて】
◎校長

【写真をご希望の方は市社会福祉協議会までご連絡下さい。】

写真で観る 「第1回福祉のつどい」



「じょうずだね、お兄ちゃん」
「この日は、運転手兼せんざい係の若き東方ボランティアとして大活躍!!」
せんざいコーナーにて

「これだけの盛況ぶりになるとは、思いませんでしたな」
「そうですね、わたしらもまだまだがんばらんとはいけませんな」
【相談コーナー担当】

今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった「福祉のつどい」。
第1回開催時の記事を振り返ります。

社協だよりリバイバル
「社協だより・ボランティアピア特集号」
第2号(平成元年5月1日発行)より抜粋